

睡眠時無呼吸症患者は

新型コロナウイルスの罹患率は 8 倍、重症化率は 2 倍

- CPAP による悪影響の可能性は？ -

2021 年 7 月

世界各地で、新型コロナワクチン接種が始まっております。日本においても医療従事者、高齢者、基礎疾患の順で接種がスタートし、本学の歯科医師も新型コロナに対するワクチン接種の打ち手として協力できることになりました。口腔や顎や顔面の腫瘍など大きな手術を行う口腔外科の歯科医師は普段から全身麻酔や手術の研修を受けて様々な医療行為を学んでおりますが、まさに虫歯の治療を行う歯科医師にとっては初めての、しかしとても良い経験になると思います。

さて、先月号にて「CPAP 治療」が新型コロナ患者の死亡率を高めるかどうかの結論が 6 月に報告されると予告しましたが、残念ながら「CORONADO」の続報は本号に間に合いませんでした。

睡眠時無呼吸症患者は新型コロナウイルス感染症の罹患率が 8 倍・重症化率が 2 倍と米国ノースウェスタン大学の研究グループが報告しました。その結果を受け厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会の予防接種基本方針部会は優先接種対象の基礎疾患（左表）に睡眠時無呼吸症を加えております。現在、新型コロナ罹患者に CPAP 特有の有害作用があるのか不明ですが、とにかくワクチンで罹患を予防することが得策です。

接種順位の上位に位置づける基礎疾患を有する者について

1. 以下の病気や状態の方で、通院／入院している方

1. 慢性の呼吸器の病気
2. 慢性の心臓病（高血圧を含む。）
3. 慢性の腎臓病
4. 慢性の肝臓病（肝硬変等）
5. インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
6. 血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く。）
7. 免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む。）
8. ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
9. 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
10. 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）
11. 染色体異常
12. 重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態）
13. 睡眠時無呼吸症候群
14. 重い精神疾患（精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する場合）や知的障害（療育手帳を所持している場合）

2. 基準(BMI 30以上)を満たす肥満の方

* BMI30の目安：身長170cmで体重約87kg、身長160cmで体重約77kg。